

令和2年度（2020年度）

滋賀県当初予算案

# 健康しがへの挑戦

～「変わる滋賀 続く幸せ」に向けて～

1



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

2

# 予算編成の経過

「施策構築の方向性について」決定（令和元年7月）

財政収支見通しの再試算を公表（令和元年8月）  
 →令和8年度までで1,065億円超の財源不足の見込

主要施策の知事協議  
 （令和元年8月）

予算編成要領を策定（令和元年9月）

## 1 施策構築について

### → 滋賀の未来に向けた変革への挑戦

- ①多様性を認め合い、いつでも誰でも持続可能な滋賀の担い手となれる社会をつくる
- ②世界とのつながりの中で、滋賀の魅力を磨き上げ、地域のさらなる活力を生み出す
- ③スマート社会に向け、地域を持続可能にするための社会実験にチャレンジする

## 2 財政健全化について

### → 収支改善の取組の着実な推進等

- <歳入>  
寄附やネーミングライツ等の自主財源の充実強化
- <歳出>  
事業効果を踏まえた施策・事業全般の見直しなど

庁内外の皆で  
 議論・検討

予算見積・公表  
 （令和2年1月）

予算案確定

# 当初予算案の規模

	令和2年度 当初予算額	対前年度当初予算比		対前年現計予算比	
		金額	比率	金額	比率
一般会計	5,705億円	+ 290億円	+ 5.4%	8億円	0.1%
特別会計	2,400億円	▲ 280億円	▲ 10.5%	▲ 280億円	▲ 10.5%
企業会計	1,186億円	+ 124億円	+ 11.7%	+ 84億円	+ 7.6%

※就農支援資金貸付事業等特別会計を廃止しています。

※現計予算には、令和2年度当初予算案と同日に上程を予定している令和元年度2月補正予算案を反映しています。

## 【主な増加要因(対当初予算比・一般会計・歳出)】

### ○施設・インフラ整備による増

- ・「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づく事業 +123億円
- ・国スポ・障スポ大会関係施設整備 +15億円
- ・草津警察署移転新築整備 +12億円

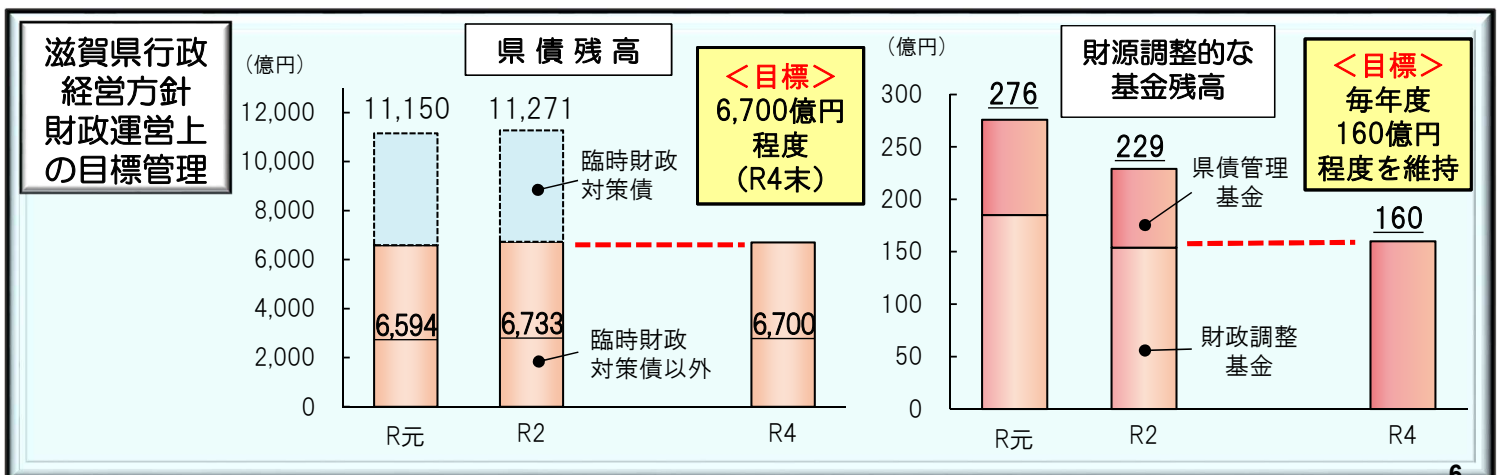
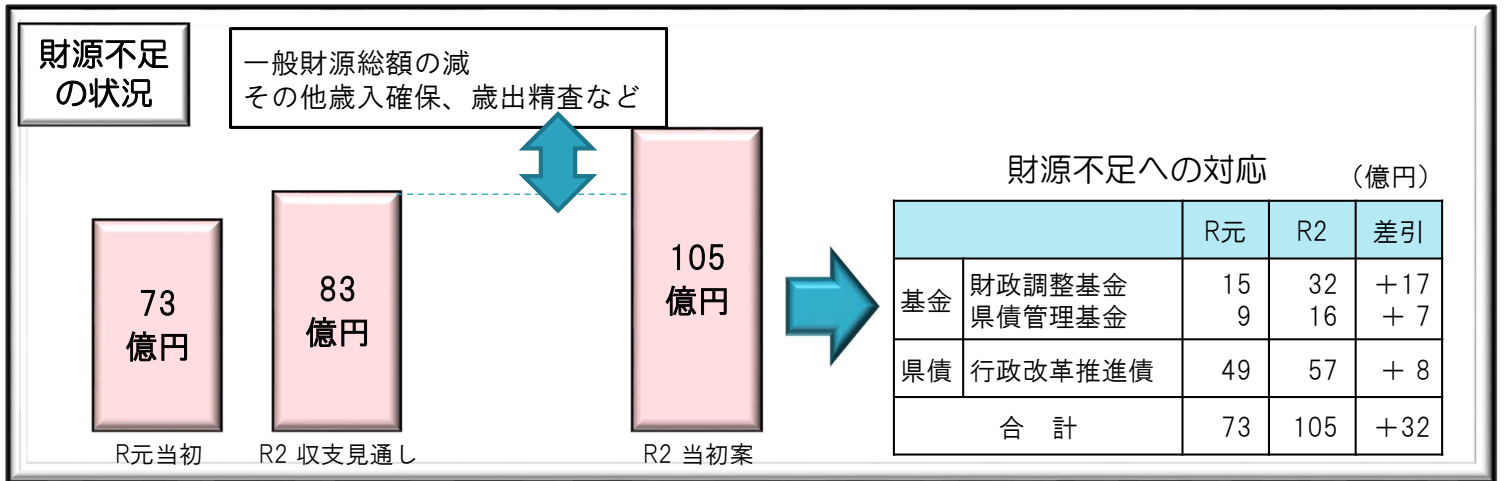
○地方消費税の税率引き上げの影響による都道府県間の清算金や市町への交付金の増 +98億円

# 県税・地方交付税等の特徴

	予算額	対前年度当初予算比		背景
		金額	比率	
<b>県税(総額)</b>	<b>1,725億円</b>	<b>+20億円</b>	<b>+1.2%</b>	
個人県民税	569億円	+15億円	+2.8%	・給与所得者に係る納税義務者および一人当たり給与所得の増加により増収が見込まれる。
法人二税	490億円	▲47億円	▲8.7%	・通商問題等に伴い製造業を中心に弱さがみられることにより減収が見込まれる。
地方消費税	259億円	+58億円	+28.8%	・税率引き上げの影響により増収が見込まれる。
軽油引取税	130億円	+0億円	+0.0%	・前年度とほぼ同程度と見込まれる。
自動車税	194億円	▲4億円	▲1.8%	・自動車取得税から自動車税環境性能割への切り替えなどにより減収が見込まれる。
その他	83億円	▲3億円	▲3.2%	・大規模建物の新築の減少による不動産取得税の減収等
(参考) 地方消費税(清算後)	609億円	+110億円	+22.0%	・税率引き上げの影響により増収が見込まれる。
<b>地方交付税等</b>	<b>1,402億円</b>	<b>+21億円</b>	<b>+1.5%</b>	
地方交付税	1,170億円	+40億円	+3.5%	・地域社会再生事業費(仮称)の創設や社会保障関係費の増加等。
臨時財政対策債	232億円	▲19億円	▲7.6%	・地方財政計画における発行総額の抑制等。

※1 地方消費税(清算後)は、国から払い込まれた地方消費税額を最終消費地に帰属させるために都道府県間で清算した後の額です。  
 ※2 自動車税の前年度当初予算には、自動車取得税を含んでいます。  
 ※3 四捨五入により、総額と内訳が一致しない箇所があります。

## 持続可能な財政運営



# 令和2年度に重視する施策

人

## 1. 未来への投資（子どもを育む環境づくり）

- (1) 切れ目ない支援（ライフステージ別）
- (2) 生きづらさを抱える子どもへの支援

人

社会

## 2. 世界とつながり わくわくするチャレンジ

- (1) 健康しがの推進
- (2) 新たな時代に向けた産業の振興
- (3) 幻の安土城復元プロジェクトの始動

7

自然

## 3. やまの健康

- (1) やまの健康

社会

自然

## 4. 強くしなやかな地域づくり

- (1) 災害に強い地域づくり
- (2) 地域モビリティのあり方検討

8

# 令和2年度に重視する施策

## 1.未来への投資（子どもを育む環境づくり）

9

（1）切れ目ない支援（ライフステージ別）

（2）生きづらさを抱える子どもへの支援

# 1. 未来への投資（子どもを育む環境づくり）

## （1）切れ目ない支援（ライフステージ別）

子どもが安全・安心な環境で健やかに生まれ育つことができるよう、誰もが出産や子育てに対する安心感を持つことができる、切れ目ない子育てを支援します。

### 令和2年度予算

### 2022年までに目指すところ

### 2030年

1) 結婚・出産  
・不妊治療の支援

不妊治療に対する職場環境整備の推進  
不妊治療のための新たな勤務制度や休暇制度を導入する事業者数  
2022年 45社増加

2) 保育人材・保育の質の向上

保育所等における教育・保育の充実  
保育所等における教育・保育に従事する者の数  
2018年9,744人 ⇒ 2022年10,900人(暫定値)

3) 県立学校 ICT 環境整備

各クラスで1日1回、1人1台環境でタブレットを使った学習が可能となる環境を整備

4) 私立学校の振興

子どもたちが個性や能力に応じて主体的にライフコースを描くことができる教育環境を整える

社会全体で子どもを育む環境の整備

## 1) 結婚・出産・不妊治療の支援

【予算額 14.3百万円】



### 現状と課題

- (1) 未婚率の上昇 … 生涯未婚率
- (2) 晩産化の進展 … 第一子出生時の母の平均年齢
- (3) 不妊治療の増加 … 日本の夫婦の5.5組に1組が不妊の検査や治療を経験

健康医療福祉部  
健康寿命推進課 (内3653)  
子ども・青少年局 (内3561)

◆ 3つのステージ（①結婚、②若い年齢での妊娠、③不妊）の各段階できめ細かく支援  
ポイント ▣ **職域での取組を強化、不妊治療への支援を拡充**

### (1) 結婚に向けた支援

### (2) ライフプラン・啓発支援

### (3) 不妊治療にかかる支援

- 新 ① めぐりあい創出モデル事業  
・広域の出会いの場を創出
- 新 ② 企業の結婚支援プロモート  
・結婚支援をサポート
- 新 ③ 職場交流補助事業  
・出会いの場づくり

- ① ライフデザイン講座等開催支援事業  
・高校生向けライフデザイン
- 新 ② 企業の子育て支援プロモート  
・企業内の子育て支援



- 新 ① 企業向けフォーラムの開催
- 新 ② 企業向け出前講座の開催
- 新 ③ 仕事との両立支援助成金事業

## 2) 保育人材・保育の質の向上

【予算額 106.0百万円】



健康医療福祉部  
子ども・青少年局 (内 3 5 5 7)

◆保育人材の確保が喫緊の課題

### 保育人材の確保対策



### 保育の質の向上対策



2つの柱

資格取得者を  
増やす

潜在保育士の  
再就職支援

現任保育士の  
離職を防止

認可外保育施設を中心と  
した質の向上を支援

#### ほいく“しが”変える！滋賀の保育改革推進事業

◆人材育成や労働環境などによる認証制度を構築し、働きやすい職場環境づくりの取組を促進

#### 保育士等の処遇改善の取得を促進

◆全施設で処遇改善を確実に実施



#### 保育士資格等の取得に対する支援

◆保育従事者の資質を向上

#### 認可外保育施設への質の向上支援

◆質の向上により安全・安心な環境づくりを推進

滋賀で保育士になろう



保育を必要とするすべての子どもたちが質の高い保育を受けられる環境をつくる

13

## 3) 県立学校ICT環境整備 (新規)

【予算額1,089.6百万円】



- ICT機器を授業への取り入れに向けた校内ネットワークの整備
- 統合型校務支援システムの導入による業務の効率化

教育委員会事務局  
教育総務課 (内 4 5 1 9)  
高校教育課 (内 4 5 7 4)  
特別支援教育課(内 4 6 4 3)  
教職員課 (内 4 5 3 6)

### 教室での授業におけるICT機器の活用イメージ



互いのスピーキング活動の様子を撮影



大型提示装置等に生徒の考えを一覧表示



タブレット上で、グループ発表資料を作成

### 特別支援教育におけるICT機器の活用イメージ

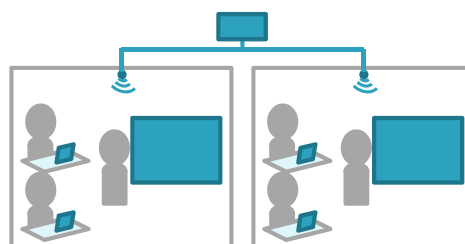


病室と教室を結んだ遠隔授業【病弱】



タブレットとタッチペンを活用したノート テイクやプリント学習【肢体不自由】

### 校内ネットワーク



ICT機器を活用した学習をストレスなく実現する校内ネットワーク

14

○ 学校法人の経営の健全化

○ 保護者の授業料負担の軽減

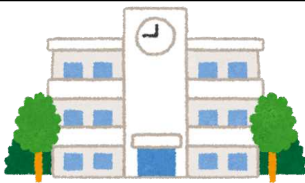
## 私学経営安定事業

### 私立学校振興補助金

学校法人の経常的経費の補助単価を近畿平均まで引き上げ

#### ◆補助単価

高等学校（全日制・定時制）	335千円 (+12千円)
高等学校（通信制）	70千円 (+2千円)
中学校	286千円 (+16千円)
小学校	277千円 (+17千円)
幼稚園	194千円 (+24千円)



総務部 私学・県立大学振興課 (内 3271)

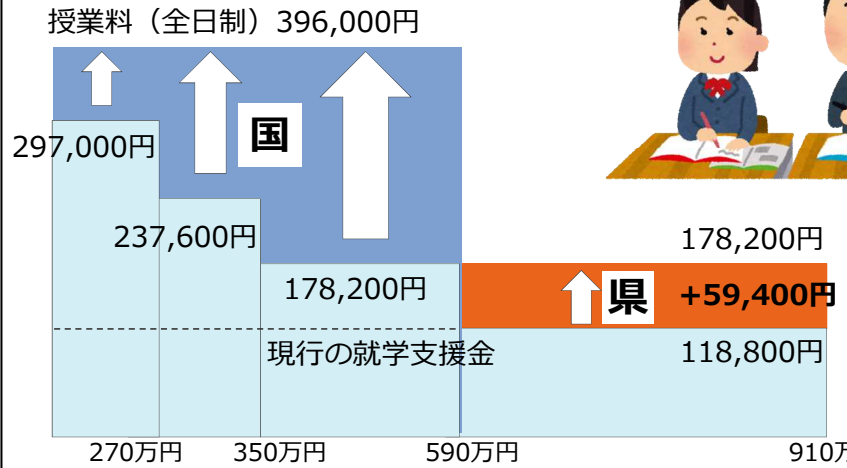
## 保護者負担軽減補助事業

### 高等学校等就学支援金交付金（国庫）

私立高校等の授業料実質無償化の実現

### 私立高等学校等特別修学補助金（県費）

国の支援に加えて県が上乗せ





## （２）生きづらさを抱える子どもへの支援

虐待、貧困や不登校などの困難な状況にある子どもへの対応、安全安心の確保など、子どもたちを取り巻く環境に関わる様々な分野での幅広い取組を実施します。

### 令和2年度予算

### 2022年までに目指すところ

### 2030年

1) 児童虐待から救う

代替養育を必要とする子どもへの  
家庭と同様の養育環境の充実  
養育里親の新規登録者数  
2018年182世帯(登録世帯総数)⇒  
2022年新規登録各年20世帯

2) 困難な課題を抱える  
子どもを支援

県内における地域全体で子どもを支  
える支援体制の確立（9市町）

3) 医療的ケア児の通学に  
係る保護者支援

対象者全員について年間10回の利用  
を実施

社会全体で子どもを育む環境の整備

17

## 1) 児童虐待から救う

【予算額 202.8百万円】



滋賀県における児童虐待相談件数は過去10年間で2.6倍！

総合企画部情報政策課（内 3292）  
健康医療福祉部  
健康寿命推進課（内 3653）  
子ども・青少年局（内 3556）

### 児童虐待への対応強化

### 児童虐待の未然防止

2つの柱

#### 子ども家庭相談センター の体制強化

- ・ 人員の増加（11人増）
- ・ 一時保護所における個室整備

#### 児童福祉司の育成

#### 家庭的養育環境の推進

- ・ 里親事前相談窓口の設置
- ・ 施設の高機能化、小規模・地域分散化

- 妊娠期から切れ目なく、身近な地域で支援

妊娠前 → 妊娠期 → 出産 → 産後 → 育児

早期につながる必要がある

妊産婦期からの早期対応の充実

- 子育ての不安感や孤立への対応

相談チャンネルの多様化

子どもの居場所づくりの拡充

子育て支援サービスの周知



18

## 2) 困難な課題を抱える子どもを支援 (新規)

【予算額 3.4百万円】

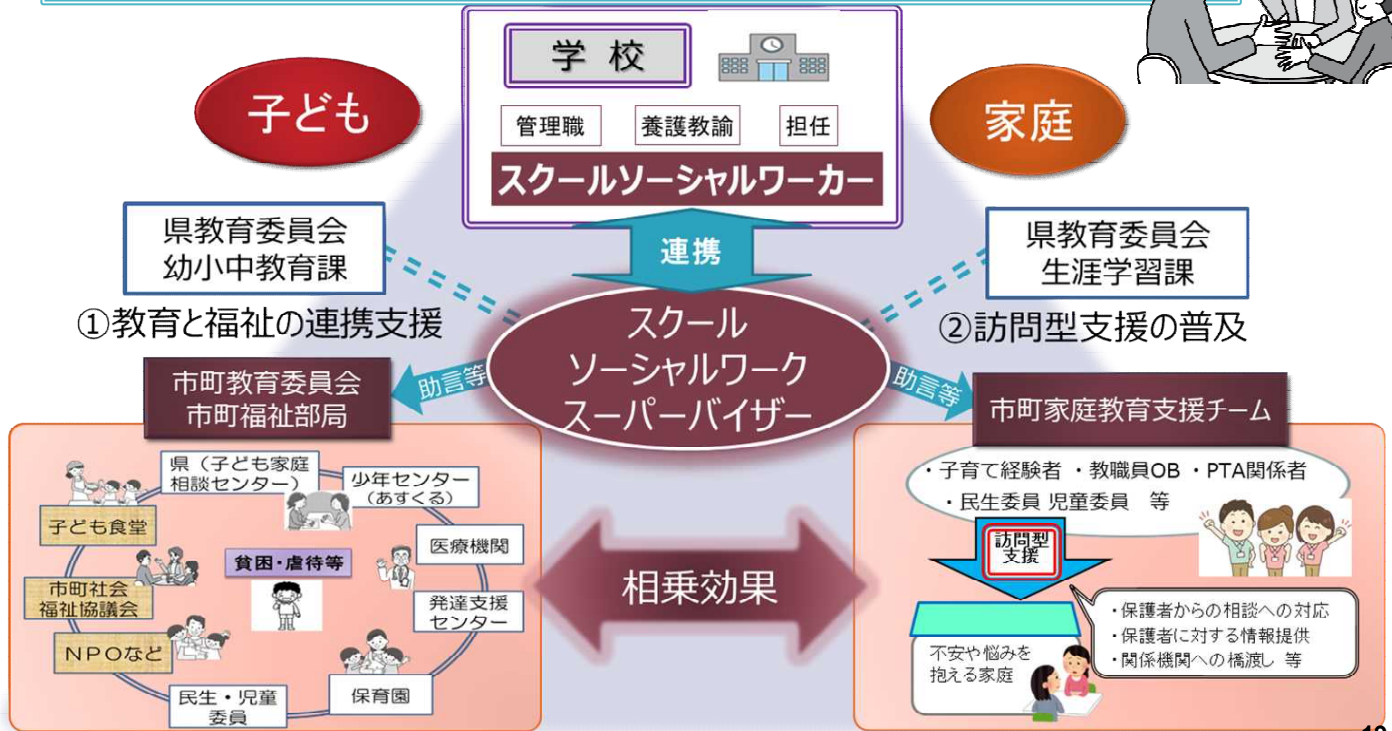
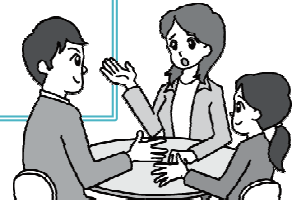


### 事業内容

スクールソーシャルワークスーパーバイザーを市町に派遣

- ① 「教育と福祉が連携した支援体制」の強化・充実
- ② 「訪問型家庭教育支援」のモデル構築と普及

教育委員会事務局  
 幼小中教育課 (内4668)  
 生涯学習課 (内4654)



## 3) 医療的ケア児の通学に係る保護者支援 (新規)

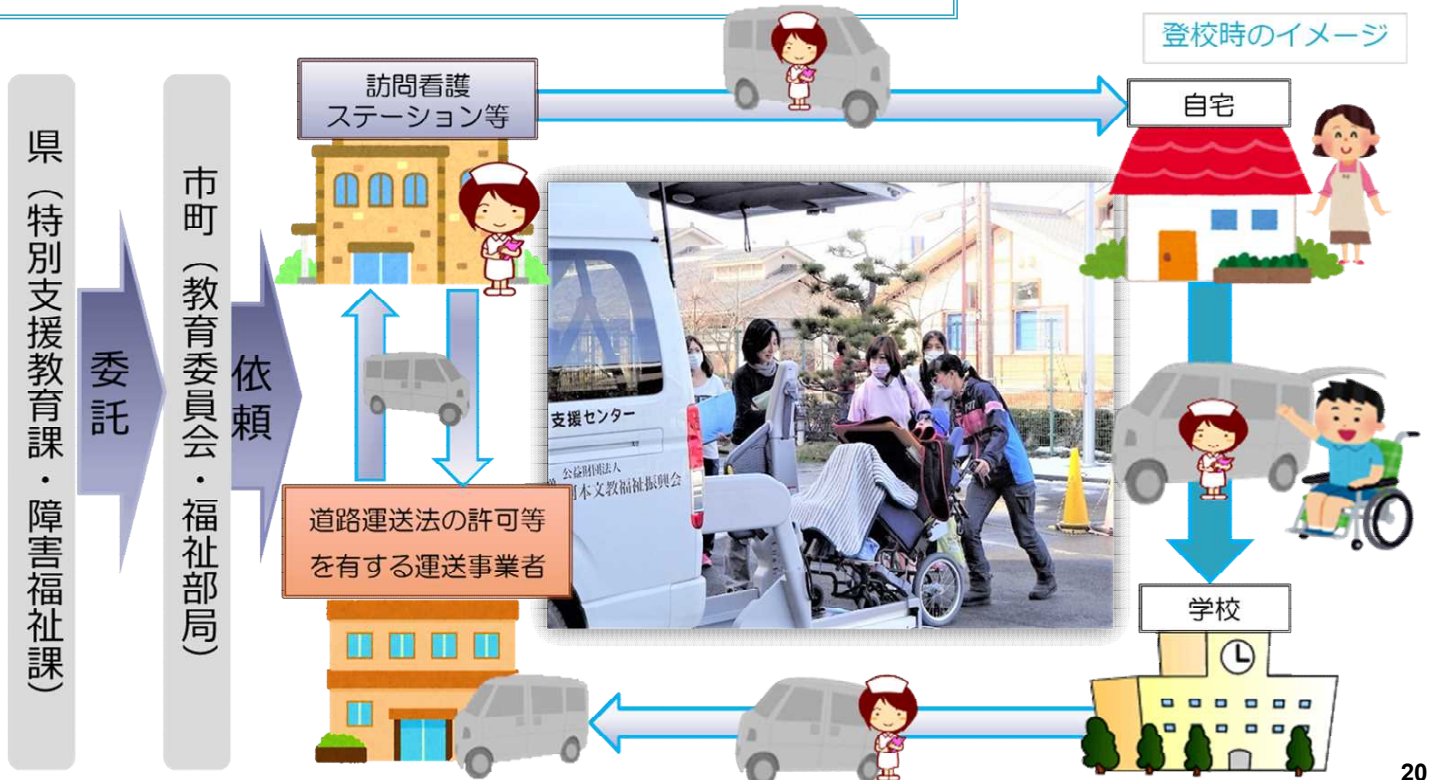
【予算額 19.6百万円】



### 事業内容

看護師が同乗した運送事業者の車両で医療的ケア児の通学の送迎を実施し、保護者の負担を軽減

教育委員会事務局  
 特別支援教育課 (内4640)



# 令和2年度に重視する施策

## 2.世界とつながりわくわくするチャレンジ

21

- (1) 健康しがの推進
- (2) 新たな時代に向けた産業の振興
- (3) 幻の安土城復元プロジェクトの始動

22

# (1) 健康しがの推進

健康寿命の延伸などを目指し、「健康なひとづくり」と「健康なまちづくり」を柱に「健康しが」の取り組みを推進します。

令和2年度予算

2022年までに目指すところ

1) みんなでつくる「健康しが」

## 健康寿命の延伸

健康寿命  
(日常生活動作が自立している期間の平均寿命)  
2017年 2022年  
男性 80.28 ⇒ さらなる健康寿命の延伸  
女性 84.26

「健康しが」共創会議により生まれた  
連携取組の件数(累計)  
2018年 4件 ⇒ 2022年 33件

2030年

生涯を通じた「からだとこころの健康」

23

## 1) みんなでつくる「健康しが」

【予算額 70.2百万円】



### 現状

平均寿命・健康寿命とも全国上位

### 課題

- ・運動習慣が定着していない
- ・40～50歳代男性の1/3が肥満
- ・野菜の摂取量が少ない
- ・女性の主観的健康寿命が全国下位

### さらなる健康寿命延伸に向けて

- ・一人ひとりの行動変容を促す
- ・楽しみながらおのずと健康的に暮らすことのできるまちづくりを進める

### ①「健康しが」共創会議を通じた活動創出

出会い・語り合い、情報共有の場をつくる

新たな活動のアイデアを共有し、ヒントを得る、協力関係の構築を目指す

健康づくり活動の創出へ事業化の促進

### ◆テーマ別意見交換会の開催

共創会議でのつながりやアイデアを、継続的・安定的な取組へと定着化



実践の場の創出  
地域への展開

◆「健康×交流」スペースの展開

交流・連携の促進

◆コーディネーターの設置

健康づくり活動のさらなる活性化

◆健康づくりの担い手のさらなる活動促進

健康医療福祉部  
健康寿命推進課(内 3657)

## ② 地域資源を「健康」でつなぐ

地域資源を活用したウォーキング事業やツーリズムコース等を「BIWA-TEKU」を活用して実施・紹介

### ◆「健康しが」ツーリズム機運醸成・地域資源活用促進事業



25

## ③ ターゲットに合わせたアプローチ



## ④ 健康推進員の活動促進

### ◆健康推進員育成事業

長年県民の健康づくりを支えてきた健康推進員の活動を支援



野菜一皿キャンペーン

## ⑤ 健康関連データの分析・活用

- ◆健康寿命延伸のためのデータ活用事業
- ◆データ活用による医療保険者支援

## ⑥ 神奈川県「未病」対策との連携

- ・「未病」 & 「健康しが」で発信
- ・広報ツールの共同利活用
- ・データ分析の協力

26

## (2) 新たな時代に向けた産業の振興

新しいテクノロジーやサービスの創出、積極的なコラボレーション、進化するインフラを活用して、「新たなチャレンジ」が日本で一番行いやすい県、「社会的課題」をビジネスで解決し続ける県を目指します！

### 令和2年度予算

### 2022年までに目指すところ

2030年

1) 中小企業のAI・IoTの実装

先端技術等を活用した新たな市場の展開や交流によるイノベーションの創出

2) 「実証実験のフィールド滋賀」

滋賀をフィールドとした新たな実証実験件数  
2018年 - 件 ⇒ 2022年12件

3) スマート農業

主要品目において、スマート農業を活用した栽培体系が地域で確立

競争力を有する強い県内産業の創出

27

一) 地域モビリティのあり方  
(後掲)

- ・地域のモビリティサービスの考え方をとりまとめ
- ・ビジネスモデルの評価と社会実装
- ・公共交通にかかる費用負担のあり方のとりまとめ (後掲)

4) 滋賀ならではの観光

観光振興による交流人口と観光消費の増加

延べ観光入込客数  
2018年5254万人⇒2022年6000万人

5) 「ビワイチ」の推進

6) 外国人材受入れ・共生

外国人材の受入れと、外国人との共生社会の実現に向けた環境整備の推進

外国人県民等と地域社会において交流や関わりを持ちたいと思う県民の割合  
2018年64% ⇒ 2022年75%

競争力を有する強い県内産業の創出

28

# 1) 中小企業のAI・IoTの実装 (新規)

【予算額 14.7百万円】



商工観光労働部  
モノづくり振興課 (内3794)  
工業技術総合センター(0775581500)

○県内中小企業のAI等デジタルツール利活用を促進・支援することで、ハードとソフトを融合した足腰の強い県内モノづくり産業の基盤強化を図る。

## AI・IoTの実装に向けた支援の流れ

### ①製造現場へのAI・IoT導入促進補助

①先進事例の創出

資金支援

### ②導入相談・マッチング

②企業の実情に応じた技術相談

技術支援

### ③AI・IoTを活用できる人材育成

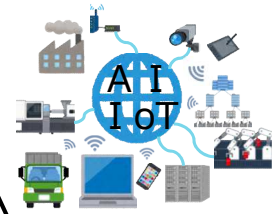
③現場における活用人材育成

人材育成

### ④県内企業向けのIoT普及セミナー開催

④普及啓発・事例紹介

情報提供



29

# 2) 「実証実験のフィールド滋賀」 (新規)

【予算額 20.4百万円】



商工観光労働部商工政策課 (内3712)

## 1 狙い

○「社会的課題」をビジネスで解決し続ける県の実現に向け、国内外から新しい技術やビジネスモデルの実証実験を呼び込み、県内企業の技術力アップ等に繋げる。

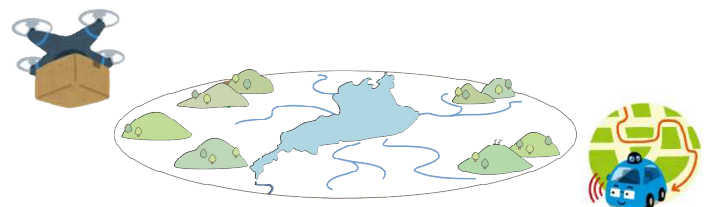
## 2 実施イメージ

○琵琶湖とそれを取り巻く山々を活かした、実証実験の取組

(例1) 琵琶湖を抱え、電波が飛びやすい、支障物がないといった特性を活かし、離島等におけるドローンを活用した買物弱者対策の実証事業

(例2) 中山間地等における自動運転や、有償運送等の実証事業

○キックオフセミナーやアイデア募集セミナーの開催



30

# 3) スマート農業

【予算額 29.8百万円】

農政水産部 農業経営課 (内3847) 畜産課(内3853)



## スマート農業で、「儲かる農業」「次世代につなぐ農業」を実現！！

### スマート農業を「知る」

農業者の理解を進めるため、研修会や民間企業とのマッチングを行います。



農業者対象の研修会



農業者と民間企業のマッチング

### スマート農業を「試す」

地域の適応性や効果を図るため、スマート農業の現地実証や研究を行います。



無人トラクタの現地実証



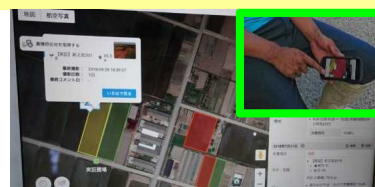
I C T園芸ハウスを活用した研究

### スマート農業を「導入する」

スマート農業の導入農業者、志向農業者に対し、技術支援を行います。



水田の自動給水装置の説明



営農管理システムの効果的活用

# 4) 滋賀ならではの観光

【予算額 234.9百万円】

商工観光労働部観光振興局 (内3740)



## 大河ドラマ「麒麟がくる」との連携

### ◆広報・プロモーション

- ・物産展を活用した観光PR
- ・旅行商品造成の強化

### ◆キャンペーン特別企画

- ・著名人を招いた戦国ステージ
- ・戦国eスポーツ大会等

### ◆関連イベントとの密接な連携

- ・びわこ大花火大会 (初の秋開催)
- ・お城E X P O (初の滋賀県開催)



### ◆地域観光プログラムの展開

- ・デジタルスタンプラリー
- ・話題作のロケ地を巡る企画

「スカーレット」  
放送効果の活用

### 新 更なる周遊促進に向けて

#### ◆滋賀の認知度向上

- ・旅行サイトと連携
- ・教育旅行の更なる促進

#### ◆県東北部の周遊促進

- ・観光周遊機能の構築に向けた実践事業

#### ◆観光の見える化・データ活用

- ・Wi-Fiデータの活用



観光入込客  
6000万人  
の早期達成

## インバウンドの誘客推進



(そこ滋賀)

(誘客経済促進センター)

### ◆滋賀の魅力発信と誘客

- ・「そこ滋賀」の充実
- ・東アジアでのプロモーション
- ・「ここ滋賀」で東京オリパラを活かした魅力発信



### ◆インバウンド受入環境整備

- ・多言語案内
- ・多言語コールセンター
- ・「おもてなし」研修等



# 5) 「ビワイチ」の推進

【予算額 345.4百万円】

商工観光労働部観光振興局 (内3746)  
土木交通部交通戦略課 (内3684) 道路課 (内4134)

## 「観光・地域経済の振興」に向けた取組

～市町や民間事業者との連携～

- 国内外への情報発信
- 企業連携の促進、人材育成の推進
- アプリの活用推進



## 安全・気軽にサイクリングを楽しめる環境づくり

～環境整備・安全対策の強化～

- 自転車走行空間の整備
- 案内表示の充実
- ルールやマナーの啓発



## 県民による自転車周遊の促進

～自転車の日常利用も促進～

- 自転車活用推進計画の推進
- 「地域から盛り上がる」サイクリングイベント推進
- 女性、親子連れをターゲットとしたサイクリング推進



## 「推進体制」の強化

民間事業者等の人材受入による推進団体の体制強化



# 6) 外国人材受入れ・共生

【予算額 98.7百万円】

外国人材の円滑な受入れと、外国人との共生社会の実現に向けた環境整備の推進

## 多文化共生社会の実現

日本語および日本社会についての学習機会の提供

**新** 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業  
地域日本語教育の実態調査および推進計画の策定  
[国際課 内線 3063]

## 教育環境の整備

外国人受入れ拡大に対応した日本語指導等への支援事業  
ICT(自動翻訳機)等を活用した支援と緊急対応のための母語支援員派遣  
[幼小中教育課 内線 4666]

外国人児童生徒に対する総合的な教育支援事業  
県立学校における日本語指導が必要な児童生徒等に対する指導・支援の充実  
[高校教育課 内線 4571]

## 生活安全における支援の充実

**新** 在留外国人等の安全確保に向けた総合対策事業  
警察署等への翻訳機の配備など、在留外国人等に対する総合的な啓発活動の実施  
[組織犯罪対策課 内線 5374]

## 外国人材の確保

外国人材の受入れ支援

**新** ベトナム政府機関等と連携し、現地人材と県内企業等のマッチングイベントを開催



大学生向け就活イベントにて、県内企業と外国人留学生をマッチング

[労働雇用政策課 内線 3758]

総合的な外国人介護人材受入れ支援

**新** 県内介護事業者団体による技能実習制度の監理団体創設を支援

**新** 特定技能および留学を通じた外国人介護人材と県内事業所等とのマッチング支援

介護福祉士養成施設の留学生に居住費等を給付する事業者に対する助成

[医療福祉推進課 内線 3597]

### (3) 幻の安土城復元プロジェクトの始動

安土城をはじめとする滋賀の城郭の魅力幅広く発信することで、安土城への関心を高め、復元への機運を醸成するとともに、安土城の実像を明らかにし、復元の方向性・方法を検討します。

令和2年度予算

2022年までに目指すところ

- 1) 「幻の安土城」復元プロジェクト
- 2) 歴史文化遺産の魅力発信

安土城見える化プロジェクトの始動

- ・安土城をはじめとする本県の歴史文化遺産全体に対する興味や関心の向上
- ・安土城復元の方向性・方法を決定し、見える化事業をスタート

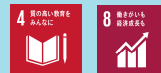
2030年

安土城の魅力を未来に継承し、世界に発信

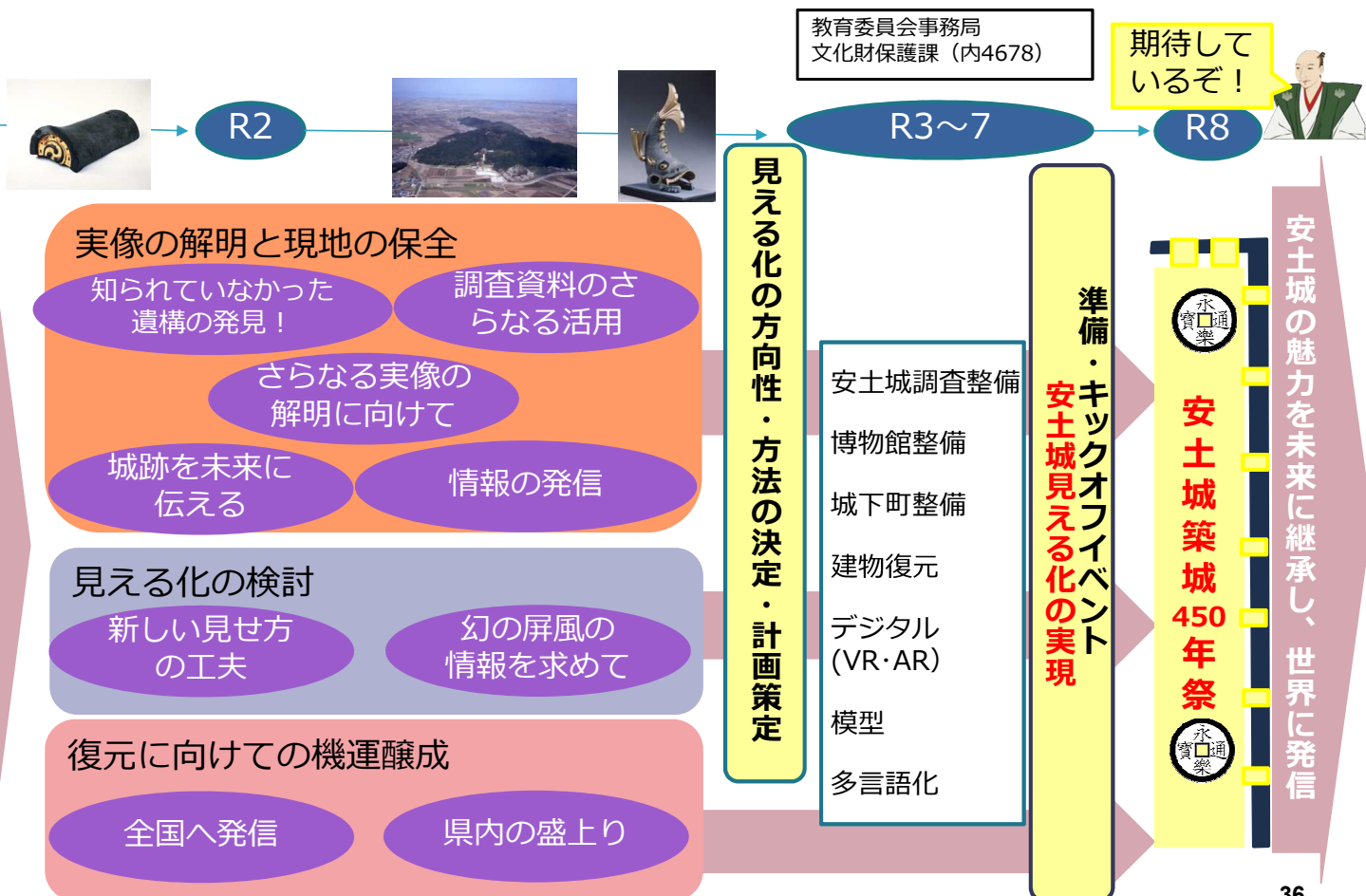
### 1) 「幻の安土城」復元プロジェクト

【予算額 19.9百万円】

【観光振興局・文化芸術振興課関連予算額除く】



安土城復元に向けての調査および検討・機運醸成



## 2) 歴史文化遺産の魅力発信

【予算額 14.7百万円】



### 新 出張！お城EXPO in 滋賀・びわ湖 開催



2日間で17,000人超を集客した  
城郭の全国イベントを滋賀に！



天の時

- 大河ドラマ「麒麟がくる」
- 彦根城の世界遺産登録への盛り上がり
- 空前の**お城ブーム**（総入場者数2,200万人）

地の利

- お城の宝庫**（約1,300の城跡）
- 明智光秀ゆかりの地**（坂本城）

人の和

- 「**戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖**」
- 地元、お城関係NPO等の**活動が活発化**



### 関連の取り組み

- 歴史セミナーの開催

新 県外全国イベントへの出展

新 車内広告・ポスタージャック



37

## 彦根城の世界遺産登録に向けた取組

教育委員会事務局  
文化財保護課（内4678）

### 「彦根城」世界遺産登録推進事業

- 「推薦書原案」の作成に向けた**学術会議**の開催
- 学術会議委員、外国人研究者等による**国際会議**の開催
- 機運醸成のための**広域的な啓発活動**  
※彦根市とともに設置する協議会において実施

### 目標年次

- 令和4年度  
国（文化庁）からユネスコへの推薦書提出
- 令和5年度  
ユネスコからイコモス（国際記念物遺跡会議）へ諮問  
イコモスによる現地視察
- 令和6年度  
**世界遺産登録の実現**

彦根城が有する普遍的価値

「武士による統治の仕組み」

文明・文化的伝統の存在を示す唯一無二のもの

38

# 令和2年度に重視する施策

## 3. やまの健康

### (1) やまの健康



# (1) やまの健康

森林・林業・農山村を一体的に捉え、森林・農地が適正に管理されるとともに、都市との経済循環により農山村の活性化を図ります。

令和2年度予算

2022年までに目指すところ

1) 「やまの健康」

モデル的な活動の充実と各地域への展開

「やまの健康」宣言の件数  
2018年 0件⇒ 2022年 5件

2030年

琵琶湖を取り巻く環境の保全と再生

# 1) 「やまの健康」

【予算額 3,700百万円】



琵琶湖環境部  
森林政策課 (内3916)

森林づくり  
森の恵み

農山村の活性化

生活基盤  
担い手

森林の適正管理

自然基盤・資源循環

林業の成長産業化

## ゾーニング

環境林  
(天然林)

(現状 → 50年後)

9.3万ha → 13.8万ha

循環林  
(人工林)

8.0万ha → 3.5万ha

環境林：自然のサイクルで維持される森林  
循環林：資源の循環利用を促進する森林

## 【森林整備】

- ・伐採・再造林
- ・バイオマス、資源利用
- ・針広混交林化 など

## 【治山】

- ・災害に強い森林づくり

やまで健康になる、  
やまを健康にする

～やま(森林・林業・農山村)と  
まち(都市)の健康～

県民  
ムーブメント

森林空間  
の活用

関係人口  
の創出

地域資源  
の活用

## 【農山村の魅力を高める】

- ・モデル地域活動支援 (2→5地域)
- ・多様な地域課題への対応

## 【県民をやまへ導く】

- ・木育ビジネス化を通じたやまに関心を持つ機会の創出 など

## 【川上(木材生産)】

森林組合等の経営改善による木材生産力の強化



## 【川中(加工・流通)】

ニーズに対応した加工・流通体制整備と製品づくり



## 【川下(利用)】

豊かな暮らしの実現に貢献する幅広い県産材の利用



# 農山村の活性化

## 「やまの健康」推進プロジェクト

森林政策課 (内3916)	市町振興課 (内3243)
商工政策課 (内3712)	観光振興局 (内3746)
農業経営課 (内3841)	農村振興課 (内3963)
住宅課 (内4235)	



### 「やまの健康」推進事業 = 農山村の魅力をもつ = モデル地域の取組支援

### 「やまの健康」連携事業

#### 「やまの健康」宣言（活動計画）の策定・進捗管理

- ・「やまの健康」宣言策定支援など
- ・山と農のにぎわい創出事業
- ・「やまの健康」事業推進体制の整備 など

- ・「やまの健康」森の恵み活用促進事業
- ・「山を活かす、山を守る山に暮らす」都市交流モデル事業
- ・「やま・さと・まち」移住・交流推進事業
- ・「やま・さと・まち」子育て世帯空き家リノベーション事業

#### 「やまの健康」宣言の活動支援に関する交付金

- ・里山林の保全・活用 ・森林文化の発信
- ・獣害を受けにくい農作物や伝統的な作物
- ・エコツーリズム・滞在型旅行 ・コミュニティビジネス
- ・生活支援サービス（移動手段・健康等） など



### 新 「やまの健康」実践事業 = 都市を含めた県民を やま へ導く = 構想の実践、都市・農山村の関わり

### 都市・農山村との関わり創出、「やまの健康」実践に向けた県民ムーブメント創出

**木育ビジネス化を通じたやまに関心を持つ機会創出**  
まちの森林づくりプロジェクト

**多様な主体による「やまの健康」の普及啓発**  
普及活動支援事業 他

**国が提唱する森林サービス産業の県内情報共有**  
森林サービス産業化

## 4. 強くしなやかな地域づくり

45

(1) 災害に強い地域づくり

(2) 地域モビリティのあり方検討

46

# (1) 災害に強い地域づくり

相次ぐ台風災害をはじめとする大規模な自然災害に対する備えを強化します。

令和2年度予算

2022年までに目指すところ

2030年

1) 強靱な社会インフラ

強靱な社会インフラの整備  
河川整備完了延長  
2018年 14km⇒ 2022年 22km

2) 地域防災力の向上

自主防災組織等の中核を担う防災士の養成  
2018年 1,937人⇒2022年 3,100人

安全・安心な地域づくり

## 1) 強靱な社会インフラ

【予算額 16,345百万円】

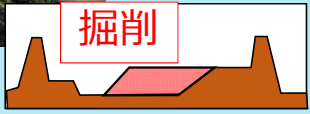
### 事前防災対策(防災インフラ整備)の加速化

土木交通部 砂防課 (内4194) 流域政策局 (内4150)  
琵琶湖環境部 森林保全課(内3932)  
農政水産部 耕地課(内3943) 農村振興課(内3964)

#### ○河川改修事業の推進



治水安全度の向上



河道を掘削して、洪水の流れをよくする。

#### ○農地防災事業の推進



ため池の安全性の向上

豪雨で破堤したため池



改修されたため池

#### ○治山事業の推進

生活環境の保全形成



山腹崩壊地の復旧やえん堤などにより土砂災害から命や財産を守る。





## 【自助】県民防災力アップ

### 県民防災力アップ事業

「生活防災」の普及啓発  
子ども食堂での子どもたちへの防災教育など

## 【公助】受援力アップ

### 滋賀県地震防災プラン等推進事業

受援に必要な資機材の整備  
帰宅困難者支援についての対策検討など

## 【共助】地域防災力アップ

### 防災と福祉の連携モデル構築事業

災害時における要配慮者の個別支援  
計画の策定を支援

### 流域治水推進事業、防災・減災対策事業

生活再建が困難となる被害を避ける、  
水害に強い地域づくりを推進



### 滋賀の自主防災組織パワーアップ事業

「地区防災計画」の策定支援および策  
定のための手引きを作成

### 土砂災害リスク情報の周知と警戒区域の見直し



災害リスク情報の事前周知や適切な避難行動支援などを通じて

# 命を守る行動につなげる!

知事公室 防災危機管理局 (内線7400)

土木交通部 流域政策局 (内線4290)

土木交通部 砂防課 (内線4195)

## (2) 地域モビリティのあり方検討

地域特性に対応した移動サービスを享受できる社会（移動弱者のない社会）づくりを推進します。

### 令和2年度予算

#### 1) 地域モビリティのあり方

### 2022年までに目指すところ

- ・地域のモビリティサービスの考え方をとりまとめ
- ・ビジネスモデルの評価と社会実装
- ・公共交通にかかる費用負担のあり方のとりまとめ

2030年

移動・交流しやすいまちづくり

51

## 1) 地域モビリティのあり方

【予算額 14百万円】



### 地域モビリティの現状と課題

土木交通部 交通戦略課 (内3681)

- ・利用者の減少、運転者の減少、維持管理経費の増大等により、維持確保が困難
- ・自家用車への依存等による交通渋滞の解消等への対応が必要

### 取組内容

#### 新たなモビリティの導入

- バス、タクシー事業者、自動車業界と連携し、デマンド型交通の導入



#### 公共交通のサービス向上

- 公共交通の利用促進や外出機会の増加、支払意思を把握するため、MaaSアプリを活用した実証実験

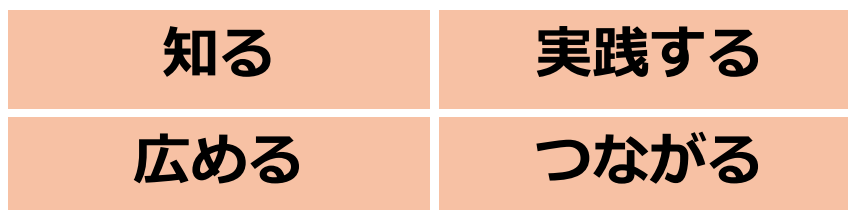


検索～予約～決済～(移動)+移動以外サービスを一本化して提供

実証実験を通じて地域における移動と費用負担のあり方を検討

# SDGs につながらり 持続可能な滋賀を目指す取組

53



## 滋賀県基本構想



## SDGs (持続可能な開発目標)

県政にSDGs  
の特徴を生かす

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS  
世界を良くするための17の目標



持続可能な滋賀

持続可能な地球

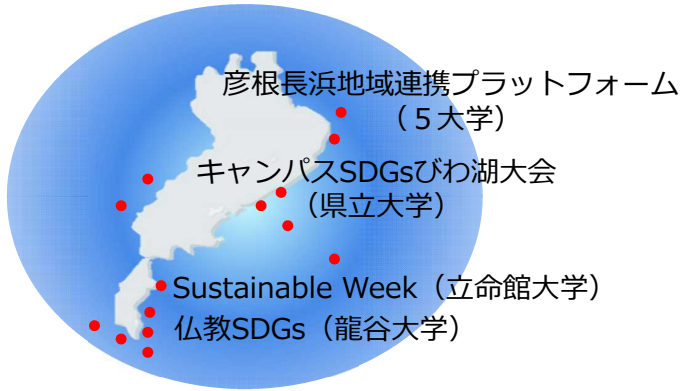
54

## □ 学生によるSDGsの取組の推進



### ・ 県内大学学生等SDGs活動支援事業

- 大学生や高校生等のSDGs活動の取組を応援
- 学校の垣根を越えてSDGsの活動をつなげる



#### ポイント

学生による様々な取組を一体的につなぎ発信することにより、県内全体の社会の変革を促進

## □ 多様な主体の参画による琵琶湖の保全再生と活用の推進



### ・ (仮称)マザーレイクフレームワーク構築推進事業

- 多様な方々が様々な形で琵琶湖に関わり、目標「(仮称)マザーレイクゴールズ」に向けて取り組むことができる「新たな枠組み」を構築



#### ポイント

自らが関わるゴールに「コミットメント(約束)」することにより、琵琶湖への積極的な関わりを目に見える形で推進

## □ 環境教育・学習の推進



- ① 体系的な環境学習推進事業
- ② 小学校での体験学習(「うみのこ」「やまのこ」「たんぼのこ」)



① 幼児の自然体験



② 小学5年生うみのこ学習

#### ポイント

ESDの視点を取り入れた環境教育・学習の推進により、持続可能な社会の担い手を育成

## □ 環境こだわり農業のさらなる推進



### ・ 環境こだわり農業推進事業

- 環境こだわり農業の一層の拡大
- オーガニック米など象徴的な取組の推進



環境にこだわった近江米



水稲のオーガニック栽培実証ほ

#### ポイント

農業、化学肥料を使用しないオーガニック農業を進め、琵琶湖の保全や生物多様性保全など、持続可能な農業を促進

# 地球の健康 “しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ” を推進！！

(仮称) 死生懇話会の開催

## 「スカーレット」 レガシープロジェクト

57

### 地球の健康 “しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ” を推進！！



#### 推進体制づくり

【新】 “しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ”推進協議会の設置  
(県民・事業者・行政が一体となり取組を進めるネットワーク構築)

#### 脱炭素社会への機運向上

- ・【新】 “しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ”ムーブメントシンポジウム
- ・【新】 「しがエネルギームーブメント！  
～“CO<sub>2</sub>ネットゼロ”に向けて～」制作・配信事業

#### 今後の施策の在り方を検討

- ・【新】 2050年脱炭素社会に向けたシナリオ作成

#### 脱炭素社会に向けた主な施策

##### 【産業・業務部門】

- ・省エネルギー推進加速化事業
- ・分散型エネルギーシステム導入加速化事業
- ・貢献量評価活用促進事業
- ・滋賀県低炭素社会づくり条例推進事業
- ・滋賀エコエコノミー推進事業
- ・中小企業振興資金貸付金政策推進資金(省エネ・再生可能エネルギー枠)
- ・【新】 CO<sub>2</sub>削減等環境ビジネス関係出展等補助事業
- ・環境こだわり農業支援事業

##### 【家庭部門】

- ・スマート・エコハウス普及促進事業
- ・地球温暖化対策推進事業  
脱炭素まちづくりの推進
- ・「やま・さと・まち」子育て世帯  
空き家リノベーション事業

##### 【運輸部門】

- ・「ピワイチ」安全・安心な  
自転車利用促進推進事業
- ・自転車活用による健康増進事業
- ・近江の心を育む交通環境学習事業
- ・交通安全施設整備費

##### 【部門横断対策】

- ・新しいエネルギー社会づくり総合推進事業
- ・【新】 スマートコミュニティ検討支援事業
- ・ごみゼロしが推進事業
- ・【新】 近未来技術等社会実装推進事業
- ・滋賀SDGs×イノベーションハブ推進事業

##### 【県庁舎の取組】

- ・グリーン購入の推進  
(環境負荷が少ない物品や電力等の選択)

##### 【吸収源対策】

- ・森林整備の推進(補助造林事業、  
琵琶湖森林づくり事業)
- ・間伐材の利用促進(単独造林事業、  
琵琶湖森林づくり事業)

#### 今後の施策を位置づけ

#### 脱炭素社会に向けた条例の改正(令和2年度)

「滋賀県低炭素社会づくり推進計画」・「しがエネルギービジョン」を改定(令和3年度)

2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ・持続可能で活力あふれる循環共生社会の実現へ

58

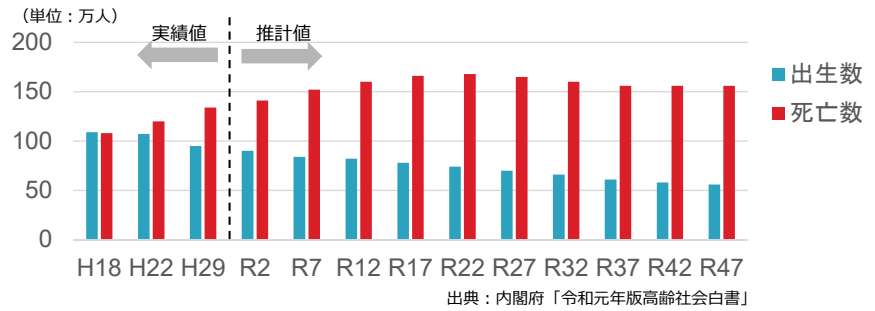
# (仮称) 死生懇話会の開催

【予算額 1.6百万円】

総合企画部 企画調整課 (内3311)

## 背景

- ◎ **人生100年時代の到来**  
⇒ これまでの人生設計が変わる
- ◎ **出生数減・死亡者数増**  
⇒ 「多死社会」の到来



## 趣旨

- 「死」について、また、医療や看取りなど「死」へのあり方について考える。
- 生きがいや幸せを感じられる「生」のあり方について考える。

変わる滋賀  
続く幸せ

## 懇話会の概要

- ◎ **委員構成 (専門分野)** **6名以内**  
学識経験者 (哲学、宗教学、社会学、経済学等)、医療関係者、教育関係者など
- ◎ **開催形式等** **令和2年度 3回開催**  
ゲストスピーカーの講演。県民参加の下、懇話会形式で議論



## 成果の活用

- 懇話会の概要を公表・発信。機運の醸成
- 懇話会で出た意見や示唆等を受けて、施策としての必要性等を検討し、今後の施策に役立てる

59

## 地場産業

商工観光労働部 モノづくり振興課 (内3790)

### 新 信楽窯業技術試験場の建替

(215.6百万円の内数)

- 研究開発・人材育成・交流発信の拠点。県産材CLTを使用予定

### 新「陶芸の森」30周年記念事業

(173.5百万円の内数)

- ドラマ関係者によるトークショー、女性陶芸家リサ・ラーソン展。(仮称)“八郎沼”の設置

## 観光・物産

商工観光労働部 観光振興局 (内3740)

### 新 信楽のロケ地等を活用した周遊イベント

(105.9百万円の内数)

- 撮影時の小道具等を現地展示。スタンプラリー

### 新 体験・体感による物産販売プロモーション

(105.9百万円の内数)

- 信楽焼などのモノづくりの魅力を体験・体感

## 「スカーレット」レガシープロジェクト

連続テレビ小説「スカーレット」の放送によって、もたらされた“プラス効果”を、一過性に終わらせない!

## 女性活躍

商工観光労働部 女性活躍推進課 (内3770)

### 新 女性起業家/女性管理職異業種交流事業

(3.4百万円の内数)

- 女性の起業を後押し。女性管理職のネットワークづくりを進め、キャリアアップを支援

知事公室 防災危機管理局 (内7407)

### 女性の参画による防災力アッププロジェクト

(0.4百万円)

- 防災対策に「女性の視点」を取り入れ、女性の参画を拡大。フォーラム開催など

商工観光労働部 観光振興局 (内3748)

### 新 信楽陶器市@ここ滋賀

(19.5百万円の内数)

- 東京・日本橋を“信楽のためき”が埋め尽くす

